

情報処理安全確保支援士特定講習 講習情報

NECマネジメントパートナー株式会社

サイバー防御トレーニング —Blue Team Training—

実施機関名	NECマネジメントパートナー株式会社		
講習名	サイバー防御トレーニング —Blue Team Training—		
特定講習番号	21-004-011		
講習形態	リモート形式	定員（1回あたり）	20名
受講日数	1日間	受講時間	6.5時間
受講料	88,000（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ監視・運用	関連分野	デジタルプロダクト開発／デジタルプロダクト運用 セキュリティ調査分析・研究開発
講習内容	<p>実習環境と進め方の説明の後、オンライン上で、グループワークによる実習をおこないます。グループワークでは、レッドチーム（攻撃を行う側）である講師が仕掛ける現実に近い様々なサイバー攻撃に対して、ブルーチーム（防御する側）である受講者がセキュリティ対策を講じてシステムを堅牢化します。また、発生したインシデントへの対応、問題個所の特定・分析・解析・対処をおこなった後、発生事象、調査方法、対処方法について報告をおこないます。</p>			
具体的な到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント発生時の事実確認・状況把握のためにサーバーを調査し、必要な情報を収集することができる ・発生したインシデントを分析し、恒久的対策を立案・実行することができる 			
修得できるスキル	<ul style="list-style-type: none"> ・インシデント発生時の対応（インシデントハンドリング）スキル ・ログの解析スキル ・サーバーの堅牢化スキル 			
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows、Linuxのシステム管理経験があることが望ましい ・Windows操作、Linuxのコマンドライン操作ができることが望ましい 			
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	<p>Windows OS、Linux OSに関する知識、および以下を含むセキュリティに関する基礎知識を有することが望ましい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表的な攻撃手法（事前調査、権限取得、不正実行、事後処理） ・セキュリティ対策技術の機能、特徴（FW、IDS/IPS、マルウェア対策など） ・暗号技術の基礎知識（暗号方式、ハッシュ、デジタル署名、PKIなど） 			
技術・知識の到達度の把握・測定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・出席率 ・実機による実習状況 ・講師からの質疑応答への対応状況 ・課題解答への到達度 			
修了認定の判断基準	<p>出席率 3 / 4 以上 かつ、以下①～③を総合的に審査し決定する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①グループ作業およびディスカッションへの参加度合い（発言状況、関与度） ②実習課題においておこなったセキュリティインシデントへの対策が合理的な内容となっているか ③実習中の講師による進捗、取組み状況、課題、方針などの確認に対する回答が妥当性を有しているか 			
修了認定基準に満たない受講者への措置	<p>修了と認められない場合には、受講者へ通知の上、修了の認定を行わない。</p>			
受講者に対するサポート体制	<ul style="list-style-type: none"> ・常時チャットでの質問を受け付ける ・実習の際は、講師、講師補助者が各グループを頻りに回り進捗確認を行う ・実習課題の各段階において、合格に満たない懸念のある受講者、グループに対しては個別に理解度を確認するヒアリングを実施し、補足説明を行う 			
講習実施施設所在地	東京都港区芝浦			

